

社研ニュース

令和5年6月30日
社研ニュース No.2
川崎市立小学校社会科教育研究会

梅雨明けが待ち遠しい季節となりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。5月の支部主任・会員研修会、6月の教育課程研究会には多くの会員の先生方にご参加していただき、ありがとうございました。皆様と社会科について語り合う機会が増え、うれしく思っております。お近くの常任委員の顔、名前を覚えていただけましたでしょうか。今後もお困りのことがございましたら、ぜひご相談ください。

ごあいさつ

川崎市立小学校社会科教育研究会会長
川崎市立中野島小学校 校長 今 広道

令和5年度会長を務めさせていただきます。中野島小学校校長の今広道です。

5月10日の研究総会では、会員全員が参集して会を行うことができました。顔を合わせて会員の皆様とお会いすることができてとてもうれしく思いました。

この頃、よく耳にする「令和の日本型学校教育」という言葉があります。みなさんもご存じだと思います。それとよく引き合い出されるのが今までの「日本型学校教育」という言葉です。子どもたちの知・徳・体を一体で育む学校教育と定義されています。その良さとして、学力の高さ、学力の地域差の少なさ、規範意識・道徳心の高さが挙げられています。約3年間に及ぶコロナ禍において、ガイドラインをもとに各学校で変更、工夫しながら冷静に着実に行われてきた教育活動そのものに、今までの「日本型学校教育」の良さが表れていると私は考えます。今後は日本型学校教育の良さを受け継ぎ、更に発展させた新しい時代の学校教育の実現を目指していくこととなります。そんな中、日々変化していく社会情勢の中で、どのように社会を見つめ、公民的資質を養っていくのか、その一翼を「社会科」という教科が担っているといえます

まさに、私たちの研究会の研究主題である「ともに生きる未来を創造し、より良い社会の在り方を問い続ける社会科学習」にぴったりあてはまります。

最後になりますが、今年度も、研究会員がここ数年でも多い247名となりました。皆様のご協力をいただきながら、子どもたちにとって、楽しく、分かりやすい社会科の授業が展開できるように研究活動を進めていきたいと思っております。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

令和5年度の研究推進に向けて

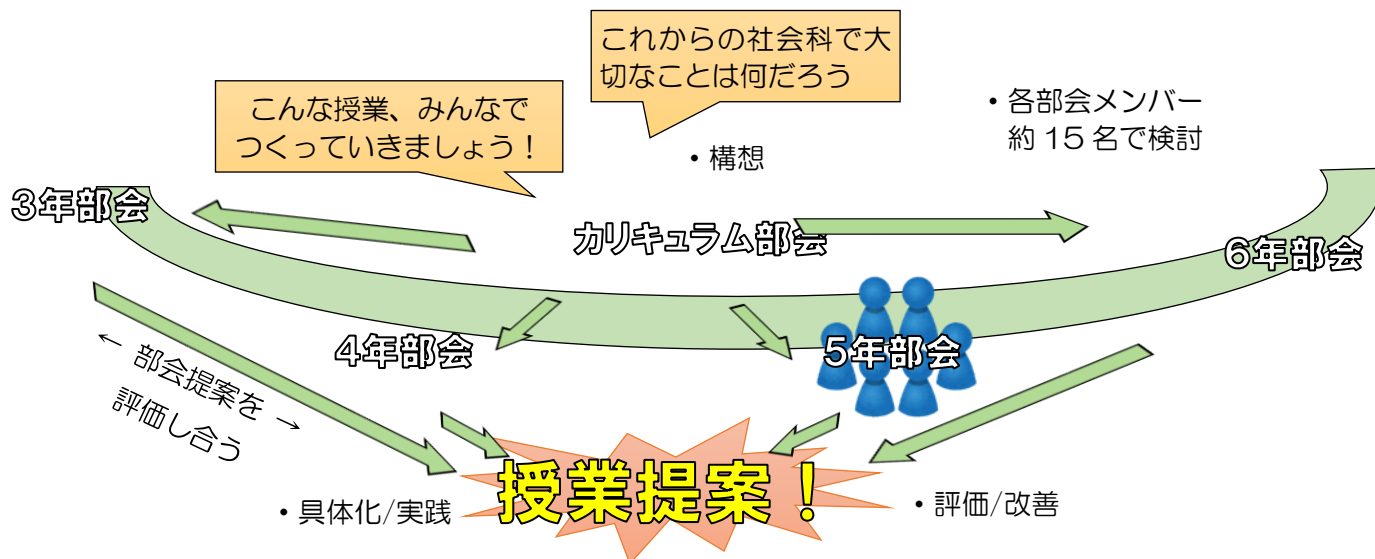
川崎市総合教育センター
カリキュラムセンター指導主事 鈴木 正博

平素より、教育委員会、総合教育センターの諸事業にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。昨年度から「かわさき教育プラン」の第3期実施計画が実施されているところですが、今年度は新しい市学習状況調査の実施や「かわさき GIGA スクール構想」ステップ3の取組が始まりました。各学校におかれましては、GIGA 端末を効果的に活用しながら「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行っているところと存じますが、子どもたち一人一人が自ら学びに向かえるよう、一層の取組を進めていただきますようお願い申し上げます。

川崎市立小学校社会科教育研究会におかれましては、これまでも日々の授業実践を大切にされた様々な事業に取り組まれています。昨年度末には、編集委員の先生方にご協力をいただき、大改訂版「副読本かわさき2023」を発行することができました。また、夏季授業づくり研修会や県内臨地研修会など、研究会とセンターの共催研修には毎年多くの先生方にご参加いただいております。様々な事業や研修等を企画・運営していただく研究会の役員・常任委員の先生方に改めて感謝申し上げます。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

7/12(水) 学年別授業研①開催!【3年・5年生】

7/12(水)は学年部会の熱い思いを乗せた授業研究会(常任委員授業)が行われます。授業研究会では、具体的に授業での子どもの姿や教師の支援に着目し、研究主題に迫っていけるよう、「部会提案」をいたします。ぜひ、忌憚のない意見をいただきたいと思ひます。



社会科研究会では、『ともに生きる未来を創造し、よりよい社会の在り方を問い続ける社会科学習』を主題に研究を進めています。授業づくりにおいては「教材化・学習過程・学習活動・指導と評価・一人一人が生きる社会科学習」の5つの視点を大切にしながら実践を行っています。今年度は、「学習活動」を「研究の重点」として取り上げます。調べた事実について、自分の考えをまとめ、表現し、多様な言語活動を通じて再構成する中で、社会的事象の特色や意味にせまることのできるような学習活動を大切にしています。具体的には、事実を読み取り、自分の考えをもち、表現したり、学習問題を設定したりする活動。学習問題の解決に向かうための話し合いや学習問題に対する自分の結論を表現する活動など、ねらいを達成するために子どもの実態に即した活動を設定できるようにしていきます。参観していただいた先生方に「面白い、自分もやってみよう」と思ってもらえるような授業を目指します。取り上げた重点は、部会提案の中心に据えるのは勿論のこと、授業の見どころとして提案します。どの授業を参観するかお考えの際に、参考にしていただけましたらと思います。また、GIGAスクール構想に基づき、GIGA端末の有効活用などについても研究を進めていきたいと考えています。

カリキュラム部長

それぞれの学年部会から授業の見どころについて紹介しています。ぜひご一読いただき、多くの先生方のご参加をお待ちしております。

3 年部会 会場 上丸子小学校

「事故や事件からまちを守る」～もっと安全なまちへ、上丸子のひみつ～

●単元のご紹介

警察署などの関連機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して事故・事件などの防止に努めていることを学習していきます。事件・事故を防ぐための働きについて、警察の対応や備え、施設・設備などの配置、地域の人々の諸活動に着目して追究し、学習したことを基に社会への関わり方を選択・判断していきます。

●ここ見て!ポイント

単元の導入を公開します。事件・事故を防ぐために活動している警察の働き、地域にある設備、地域の人々の取り組みに着目できるように絵地図や資料から読み取れる事実、生活経験を根拠に予想を立てて話し合います。子ども達の予想を整理して、地域の安全を守っている人・もの・ことについて調べていく視点をもったり、学習問題を解決するための方法を考えたりするなど、見通しをもって主体的に学ぶことができる姿につなげていきます。

5 年部会 会場 川崎市立 東小倉小学校

「米作りのさかんな地域」～これからもお米を食べ続けるようにするためには～

●単元のご紹介

普段子ども達が食べている米がどのように作られ、私たちの手元に届くのかを南魚沼市の稲作農家のMさんを通して学習していきます。米作りに関わる人々の工夫や努力、「おいしい米を届けたい」という情熱を知り、これからの農業の発展について考えることができるようにしていきます。

●ここ見て!ポイント

今年度は、深い学びにつながる学習活動の工夫を考えました。具体的には、前時の終わりに学習問題を立て、本時までには自分の考えの根拠となる資料を探していく「行間の学び」にチャレンジします。GIGA 端末を活用し情報収集や情報共有を行っていくことで、子どもたちの考えに広がりや深まりを生み出していきたいと考えています。新しい学習活動の可能性について授業を通して一緒に考えていきましょう。